

1. 戦略の概要

1-1 戦略の考え方

国内農業の体質強化を図るためには、担い手の育成・確保と併せ、付加価値の向上に取り組むほか、生産コストの縮減により生産者の所得を確保し、価格競争力を高めることが重要である。

このためには、メーカー・販売店等の協力を得て農業資材費等を低減するとともに、農業現場でも農業生産の工程を常に見直すことにより、生産コストの縮減に向けた取組を実践することが必要である。

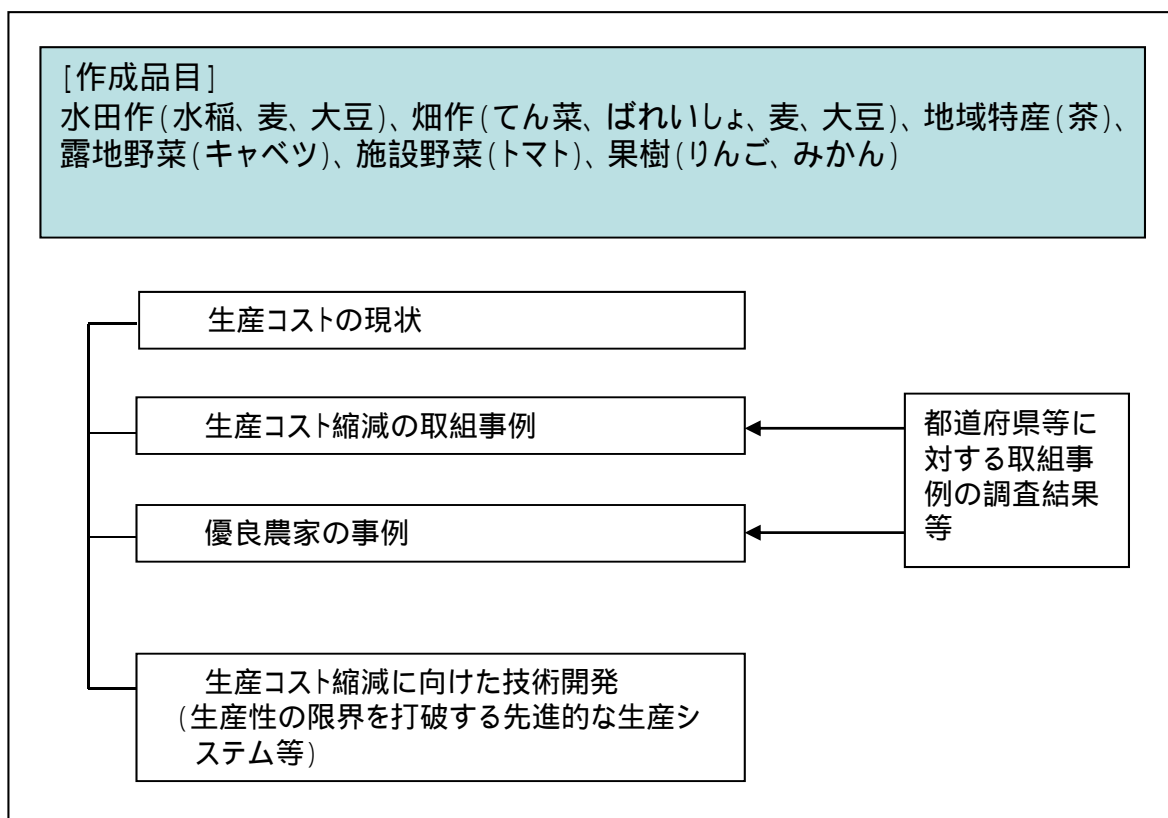
本戦略は、こうした農業現場での取組の参考となるよう、主な作付体系・品目について、農業現場に導入できる取組事例、新技術などを示し、品目ごとのコスト縮減に向けた戦略を示したものである。

本戦略で紹介する取組事例については、各都道府県から報告いただいたものを基本として、コスト縮減等の効果や導入にあたり配慮すべきポイントなどをできるだけ明らかにし、農業現場の参考となるよう整理を行った。

また、取組事例の紹介に先立ち、生産コストの構造を示し、縮減に取り組むことが必要な経費や規模拡大の障害要因となる生産工程などを明らかにするほか、コスト縮減に向けた先進的な生産システムや技術開発の方向性などについても整理を行った。

本戦略を参考として、各農業現場において、農業生産やその経営の実態に合った取組を見つけ、生産コスト縮減の取組が進むことが期待される。

品目別生産コスト縮減戦略の概要



1-2 生産コスト縮減に向けた取組

様々なアプローチ

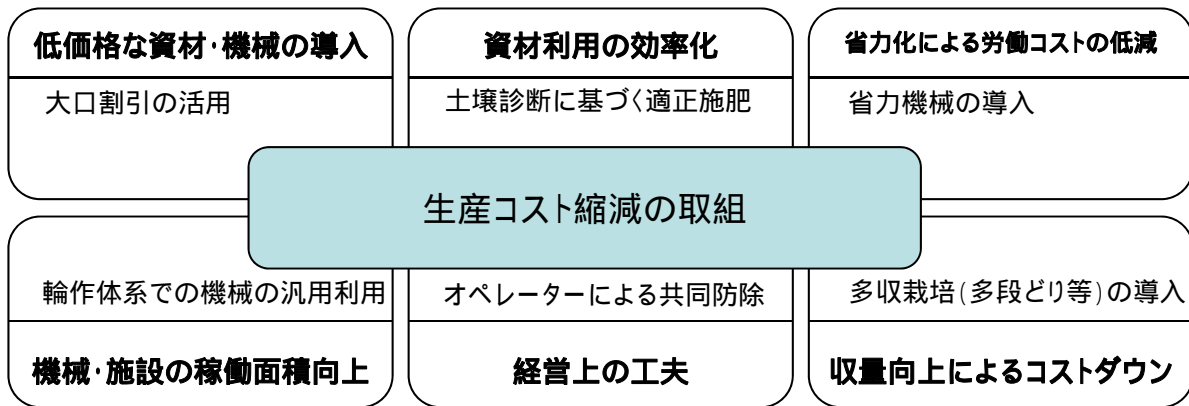
生産コスト縮減に向けた取組には様々なアプローチがある。大きく分けて、

- 低価格な資材・機械等の導入
- 資材利用の効率化
- 省力化技術の導入による労働コストの低減
- 規模拡大・共同化・汎用化等による機械や施設の稼働面積の向上
- 経営上の工夫によるコストダウン
- 生産性（収量）の向上による生産物当たりのコストの低減等があり、こうした様々な観点から取組の可能性を考える必要がある。

戦略を地域で生かすために

生産コストの縮減に向けた取組を進めるためには、本戦略などを活用して、農家自身が自らの生産工程や生産コストの現状を洗い直し、可能な取組を検討していただくとともに、各地域でも、コスト縮減に向けた新技術や資材についてはそれぞれの地域での導入実証、マニュアル化などを行うほか、低価格な資材等の供給体制づくり、機械・施設等の効率利用体制づくりなどが必要であり、各農家だけでなく、各地域でも取組を見直し、コスト縮減を進めることが重要である。

生産コスト縮減の取組例



品目別生産コスト縮減戦略の活用イメージ

